

Best Available Copy

PAT-NO: JP362094450A

DOCUMENT-IDENTIFIER: — JP 62004450

TITLE: FITTING STRUCTION FOR FRONT SIDE SHIELD

PUBN-DATE: April 30, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAKAHASHI, MAMORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

NISSAN MOTOR CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP60235039

APPL-DATE: October 21, 1985

INT-CL (IPC): B60R013/08, B60Q001/04 , B62D025/08

US-CL-CURRENT:

ABSTRACT:

PURPOSE: to improve the appearance and quality feeling of a front side shield by dividing into three portions the shield to be laid between head lamps and a and a front bumper, and fixing both side portions to the head lamps and the intermediate portion to a radiator core support.

CONSTITUTION: A front side shield 11 made of a resin material laid between head lamps 1 and a 2, and a front bumper 3 is divided into an intermediate portion 12 and side portions (right and left) 13. Brackets 14 and 15 are formed monolithically with the middle and end upper edges of the intermediate portion 12. On the other hand, brackets 16 and 17 are formed monolithically with the back of the side portions 13 and the inner ends thereof, and a lap piece 18 is provided in a projected form adjacent to the bracket 17 and in contact with the back of the intermediate portion 12. And both side portions 13 are bolt 23 fixed to the head lamps 1 and the intermediate portion 12 is screw fixed to a radiator core support 6 after the head lamps 1 have been fitted.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑫ Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和62年(1987)4月30日

B 60 R 13/08
B 60 Q 1/04
B 62 D 25/08

7401-3D
A-8410-3K
6631-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 フロントサイトシールドの取付構造

⑮ 特 願 昭60-235039

⑯ 出 願 昭60(1985)10月21日

⑰ 発 明 者 高 橋 守 横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内
⑱ 出 願 人 日産自動車株式会社 横浜市神奈川区宝町2番地
⑲ 代 理 人 弁理士 志賀 富士弥 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

フロントサイトシールドの取付構造

2. 特許請求の範囲

(1) ヘッドランプおよびラジエータグリルと、フロントバンパーとの間に配設されるフロントサイトシールドを、センター部と両側のサイド部に分割し、サイド部をヘッドランプに固定する一方、センター部をラジエータコアサポートに固定すると共に、両側のサイド部に連接したことを特徴とするフロントサイトシールドの取付構造。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は自動車のフロントエンドに配設されるフロントサイトシールドの取付構造に関する。

従来の技術

図7、8図は従来のフロントサイトシールドの取付構造を示すもので、図中1は両側のヘッドランプ、2はこれらヘッドランプ1、1間に配設されたラジエータグリルで、ヘッドランプ1、ラジ

エータグリル2の各上下縁は面一に整合してある。3はフロントバンパーを示し、このフロントバンパー3と前記ヘッドランプ1、ラジエータグリル2との間にフロントサイトシールド4を配設して、これらフロントバンパー3とヘッドランプ1、ラジエータグリル2との間を隠蔽して外観を損なうことがないようにしてある。このフロントサイトシールド4は樹脂、金属等のパネル材からなつていて、その上縁には複数個のブラケット5を付設してあり、これらブラケット5を介してラジエータコアサポート6の前面にボルト固定してある。

発明が解決しようとする問題点

フロントサイトシールド4はヘッドランプ1の取付けに先行する場合と、後付けする場合とがある。ヘッドランプ1の取付けに先行する場合にあつては、ヘッドランプ1の挿入作業スペースを確保するために、ヘッドランプ1とフロントサイトシールド4との間のパーティング間隙 ϕ をある程度大きく設定する必要がある。また、ヘッドランプ1の取付けに対してフロントサイトシールド4

を後付けする場合にあつては、該フロントサイト
シールド4の締結作業のために前部と側部との
パーティング間隙 δ_1 をある程度大きく設定するか、あ
るいはフロントサイトシールド4上縁のブラケッ
ト6配設部位近傍に凹部8を形成して作業スペ
スを確保する必要があるが、何れの場合も見栄え
を損なつてしまい不具合が指摘されている。また、
ヘッドランプ1はフロントフェンダ7を基準とし
て、該フロントフェンダ7前端の切欠部9縁と、
ラジエータコアサポート6とに跨つてボルト固定
されるが、フロントサイトシールド4はラジエー
タグリル2と同様にラジエータコアサポート6に
ボルト固定されるため、ラジエータコアサポート
6とフロントフェンダ7との組付け精度のバラツ
キやフロントサイトシールド4の組付け精度のバ
ラツキ等によつて、フロントサイトシールド4上
縁とヘッドランプ1との間のパーティング間隙 δ_2 と、
フロントサイトシールド4の両側端縁とフロント
フェンダ7前端の切欠部9縁との間のパーティ
ング間隙 δ_3 とが不均一となつてしまい、外観、品質

3

図1、2図において、11はヘッドランプ1、ラ
ジエータグリル2と、フロントバンパー3との間
に配設される樹脂材からなるフロントサイトシー
ルドを示し、このフロントシールド11はセンター
部12と、両側のサイド部13とに分割構成してある。
センター部12上縁の中央部および両端部にはブラ
ケット14、15を一体に形成してある。また、サイ
ド部13の背面および車体中央側の端部にブラケッ
ト16、17を一体に形成してあると共に、ブラケッ
ト17に隣接してセンター部12の背面に当接するラ
ップ片18を突設してある。一方、ヘッドランプ1
の下面および車体中央側の側面には、前記サイ
ド部13のブラケット16、17に対応してブラケット19、
20を突設してある。このヘッドランプ1は従来と
同様に背面に突出するスタッドボルト21とナット
22により、フロントフェンダ7を基準としてその
前端の切欠部9縁とラジエータコアサポート6と
に跨つて締結してある。該ヘッドランプ1には前
記サイド部13をブラケット16、19を介してボルト
23固定してサブアッセンブリしてあり、センター

5

部を損なつてしまい不具合も指摘されている。

そこで、本発明はフロントサイトシールドとヘ
ッドランプとの間のパーティング間隙を組付け作
業に支障を来すことなく極力小さくすることがで
きると共に、該パーティング間隙と、フロントサ
イトシールド両側端縁とフロントフェンダ7前端の
切欠部縁との間のパーティング間隙とを均一に整
合することができて、外観、品質感を一段と向上
することができるフロントサイトシールドの取付
構造を提供するものである。

問題点を解決するための手段

ヘッドランプおよびラジエータグリルと、フロ
ントバンパーとの間に配設されるフロントサイト
シールドを、センター部と両側のサイド部とに分
割し、サイド部をヘッドランプに固定する一方、
センター部をラジエータコアサポートに固定する
と共に、両側のサイド部に連接してある。

実施例

以下、本発明の実施例を図面と共に前記従来の
構成と同一部分に同一符号を付して詳述する。

4

部12はこのヘッドランプ1の組付け後、ブラケッ
ト14を介してラジエータコアサポート6にボルト
24固定される。

また、このセンター部12の両端部のブラケッ
ト15は、サイド部13の端部のブラケット17と共にヘ
ッドランプ1の側面のブラケット20にボルト25固
定して、該センター部12をサイド部13に連接して
ある。ここで、センター部12のブラケット15のボ
ルト挿通孔は車幅方向に長孔に形成してあつて、
組付け誤差およびセンター部12、サイド部13の長
さ方向膨張、収縮を吸収できるようにしてある。
本実施例ではセンター部12とサイド部13とのパー
ティング間隙を1〜2mm程度に設定して、前述の
誤差および膨張、収縮を吸収するようにしてある。
ラジエータグリル2は、ヘッドランプ1およびセ
ンター部12の組付け後にラジエータコアサポート6
に装着される。

以上の実施例構造によれば、フロントサイトシ
ールド11のサイド部13はフロントフェンダ7を基
準として装着されるヘッドランプ1に固定してサ

6

アッセンブリしてあるため、該ヘッドランプ1とサイド部13とのパーティング間隙 δ_1 は可及的に小さくしてもサイド部13の組付けには何等支障を来すことなく、しかも、このサイド部13も結局フロントフェンダ7を基準として取付けられることになるため、前記パーティング間隙 δ_1 と、サイド部13の外側の端部とフロントフェンダ7前端の切欠部9最との間のパーティング間隙 δ_2 とを均一に整合することができる。また、センター部12の両端部はサイド部13に連接され、しかも、この継目部分の背部にはサイド部13のラップ片18が存在しているため外観上不連続感が生じるのを回避することができる。

第3、4図に示す実施例はフロントサイトシールド11のセンター部12に開口部30を形成し、図外のラジエータへの導風効率を向上させたものである。センター部12はアッパセンター12aとロアセンター12bとからなつていて、これら両者の間に開口部30が形成されている。アッパセンター12aとロアセンター12bとは中央のブラケット14aお

7

るいはロアセンター12bおよびロアサイド13bの組合せの変化を任意に行うことができ、従つて、センター部12の開口部30の有、無やヘッドランプ1の形状、大きさの相違、あるいはフロントバンパー3の形状の相違等に容易に対応できる利点がある。

発明の効果

以上のように本発明によれば、フロントサイトシールドをセンター部と、両側のサイド部とに分割形成してあつて、サイド部をヘッドランプに固定し、そして、センター部をラジエータコアサポートに固定すると共に、両側のサイド部に連接してあるため、サイド部をヘッドランプと共にフロントフェンダを基準として取付けることができる。この結果、サイド部とヘッドランプとの間のパーティング間隙を組付け作業に支障を来すことなく可及的に小さくすることができ、しかも、該パーティング間隙と、サイド部の外側端部とフロントフェンダとの間のパーティング間隙とを均一に整合することができ、外観、品質感を一段と向上

9

し、両端のブラケット15aを介して一体成形されている。本実施例にあつてもサイド部13とセンター部12の取付けは前記実施例の場合と全く同様であるので説明を省略する。

第5、6図は前記第4、5図に示した実施例の変形例を示すもので、センター部12のアッパセンター12aとロアセンター12bとを別体成形する一方、サイド部13もアッパサイド13aとロアサイド13bとに別体成形したものである。ロアセンター12bのブラケット14a、15aにはサブブラケット14b、15bを曲折成形してあつて、アッパセンター12aをこれらサブブラケット14b、15b上にボルト・ナット固定して、アッパセンター12aとロアセンター12bとを結合するようにしてある。また、アッパサイド13aはロアサイド13b上にボルト・ナット固定して、両者の結合を行えるようにしてある。この実施例の場合も、サイド部13とセンター部12の基本的な取付けは前記実施例の場合と同様である。本実施例によれば、アッパセンター12a又はアッパサイド13aの組合せの変化、あ

8

することができる。また、センター部とサイド部とを分割してあるため、センター部とサイド部との長さ方向の組付け誤差、成形誤差を、これらセンター部とサイド部との継目部分で容易に吸収することができる。とりわけ、センター部、サイド部が樹脂製のものであれば、長さ方向の膨張、収縮を前記継目部分で吸収させることもできるという実用上多大な効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の構造を採用した自動車の外観斜視図、第2図は同分解斜視図、第3図はフロントサイトシールドの異なる例の配膳状態を示す正面図、第4図は同フロントサイトシールドの分解斜視図、第5図はフロントサイトシールドの更に異なる例を示す斜視図、第6図は同要部の拡大斜視図、第7図は従来の構造を採用した自動車の外観斜視図、第8図は同フロントサイトシールドの取付状態を示す斜視図である。

1…ヘッドランプ、2…ラジエータグリル、3…フロントバンパー、6…ラジエータコアサポー

10

11...フロントフェンダ、11...フロントサイド
シールド、12...センター部、13...サイド部。

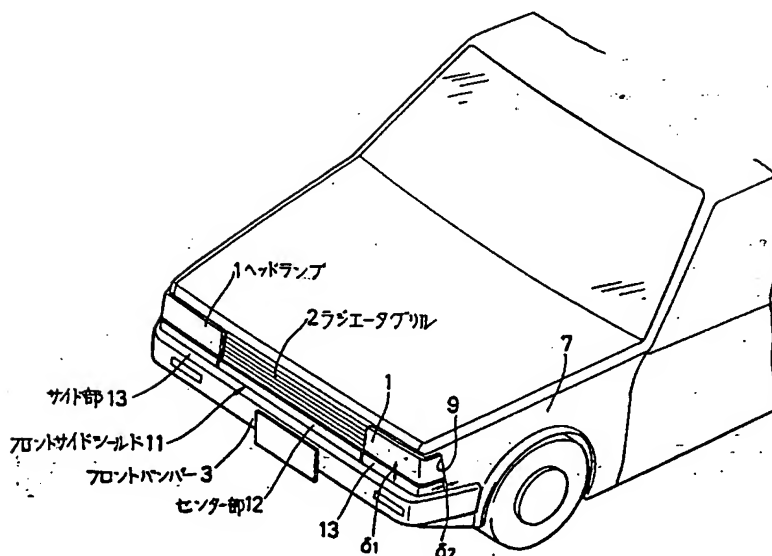
代理人 志賀 富士 弥名
外 2 名



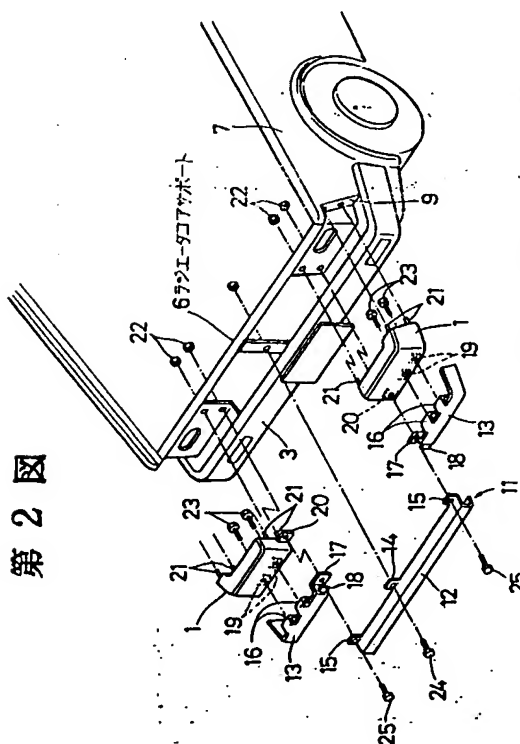
11

図面の浄書(内容に変更なし)

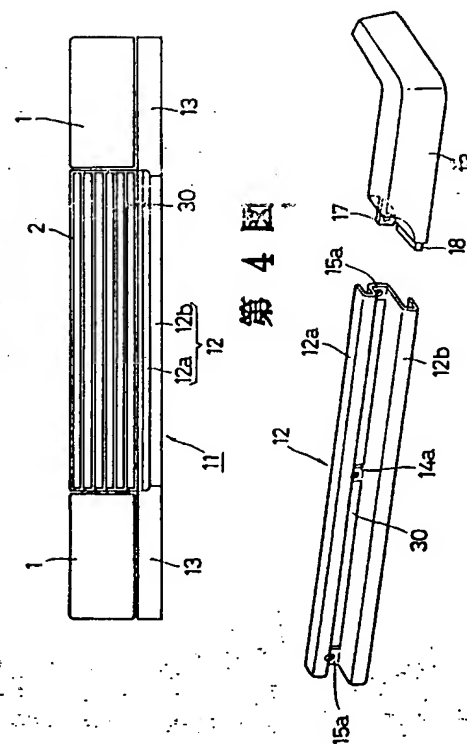
第 1 図



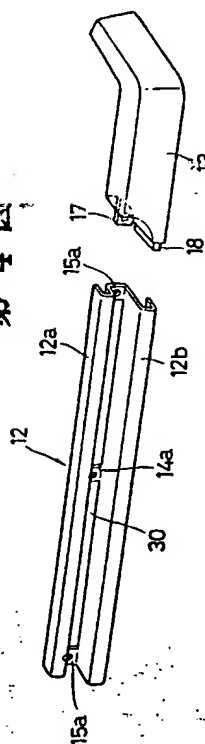
第 2 図



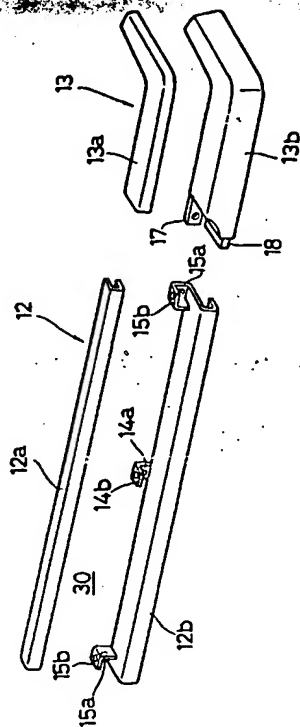
第 3 図



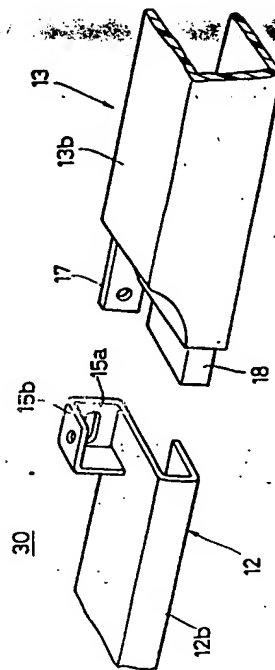
第 4 図

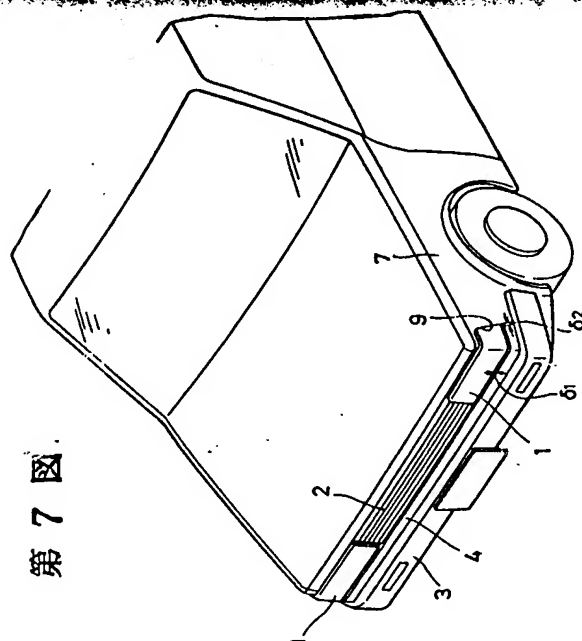


第 5 図

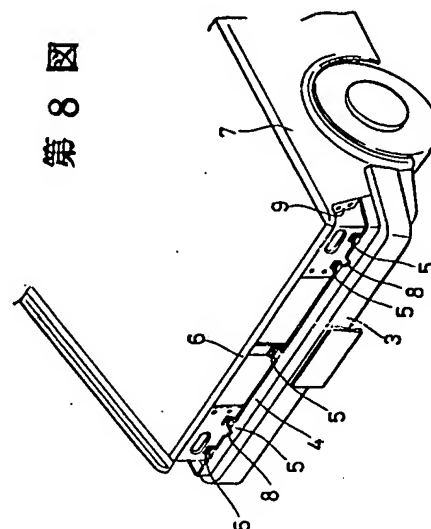


第 6 図





第7図



第8図

手続補正書 (方式)

昭和 61 年 2 月 19 日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

昭和 60 年特許願第 285089 号

2. 発明の名称

フロントサイトシールドの取付構造

3. 補正をする者

事件との関係 出願人

(899) 日産自動車株式会社

4. 代理人 〒104

東京都中央区明石町1番29号 経済会ビル

電話 03(545)2251(代表)

弁理士 (6219) 志賀富士弥

5. 補正命令の日付

昭和 61 年 1 月 28 日

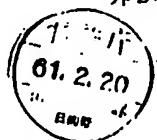
6. 補正の対象

添付図面

7. 補正の内容

添付図面の序書を別紙の通り提出する。

(内容に変更なし)



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.